

ワークショップ 4

「胆嚢炎に対する経消化管的アプローチの現状」

司会 糸井 隆夫（東京医科大学消化器内科学分野）

島谷 昌明（関西医科大学総合医療センター消化器肝臓内科）

近年、胆嚢炎に対する治療戦略は大きく変化しており、従来の経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）に加え、経消化管的アプローチとして超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ（EUS-GBD）が新たな選択肢として注目されている。特に高齢者や手術ハイリスク症例において 2025 年 6 月に LAMS を用いた EUS-GBD が保険適用となったが、施行できる施設・術者は未だ限定的である。

本セッションでは、経消化管的アプローチの適応、手技の工夫、治療成績、偶発症、さらに他モダリティとの位置づけについて議論したい。